

手を組めば新しい風

24

アイレックまつり

手話通訳付き



保育付き
無料

講演会

『生きるのに遠慮はいらない』

～あなたらしく前へ、立ち止まらずに進もう～

「女性活躍」といいながらなかなか働きやすくない世の中。自分の生活の中で、上司、同僚、世間や家族にいろいろと言われてストレスを感じます。見回すと、性暴力の加害者に続々と無罪の判決が出て、女性としての気持ちは萎えます。

「弱者が弱者のまま認められる社会に」、また「恵まれた環境と恵まれた能力とを、恵まれないひとびとを助けるために使ってください」。今年度の東京大学入学式の祝辞に、そう上野千鶴子さんは語りかけました。

女性の生きづらさの後ろにあるなかなか改善されない社会問題を、女性学のパイオニアの講師とともに考え、今の苦境を抜け出し、あなたらしく前へ、歩を進めていきませんか。



菅野勝男撮影

うえのちづこ

講師 **上野千鶴子さん**

社会学者・東京大学名誉教授

認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク（WAN）理事長

10月13日(日) 午後2時～4時（開場1時30分）

会場：清瀬市アミューホール（アミュービル7階）

定員：先着 180人（入場無料）

（午後1時から男女共同参画センターにて整理券を配布）

保育：先着 10名（6カ月～就学前まで）

10/3（木）までに電話でお申込みください。

あの!

今年の東京大学入学式でインパクトのある祝辞を述べられた上野千鶴子さんがアイレックまつりに来てくれます!!

☆ 上野千鶴子さんプロフィール ☆

富山県生まれ。京都大学大学院社会学博士課程修了。平安女学院短期大学助教授、シカゴ大学人類学部客員研究員、京都精華大学助教授、国際日本文化研究センター客員助教授、ボン大学客員教授、コロンビア大学客員教授、メキシコ大学院大学客員教授等を経る。1993年東京大学文学部助教授(社会学)、1995年から2011年3月まで、東京大学大学院人文社会系研究科教授。2012年度から2016年度まで、立命館大学特別招聘教授。2011年4月から認定NPO法人ウイメンズアクションネットワーク(WAN)理事長。

専門は女性学、ジェンダー研究。この分野のパイオニアであり、指導的な理論家のひとり。高齢者の介護とケアも研究テーマとしている。

1994年『近代家族の成立と終焉』(岩波書店)でサントリー学芸賞受賞。

2011年度、「朝日賞」受賞。受賞理由「女性学・フェミニズムとケア問題の研究と実践」

2019年、フィンランド共和国「Hän Honours」受賞(長年の平等への貢献に対する感謝状)

著書は、『生き延びるための思想』(岩波書店)、『おひとりさまの老後』『男おひとりさま道』(法研)、『上野千鶴子が聞く 小笠原先生、ひとりで家で死ぬますか?』(朝日新聞出版)。『ケアのカリスマたち 看取りを支えるプロフェッショナル』(亜紀書房)最新刊に『女ぎらい ニッポンのミソジニー』(朝日新聞出版・文庫)がある。

10/12(土)
映画「ドリーム」上映会
1回目 14:00~
2回目 17:30~
入場料:500円

10/13(日)
ワークショップ
アンガーマネジメント講座
10:00~正午

バザー
10/12(土)
10:00~13:30
13(日)
10:00~13:00

※ すべての企画に無料保育が付きます。詳しくは、9/15号の市報をご覧ください。

主催:アイレックまつり実行委員会
問合せ:清瀬市男女共同参画センター
清瀬市元町1-2-11(アミュービル4階)
☎042-495-7002

